

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年12月1日(2023.12.1)

【公開番号】特開2021-186110(P2021-186110A)
 【公開日】令和3年12月13日(2021.12.13)
 【年通号数】公開・登録公報2021-060
 【出願番号】特願2020-92710(P2020-92710)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 6 B

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和5年11月22日(2023.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の発射操作に基づいて遊技領域へ遊技球を発射可能な発射手段と、
 所定入球手段への遊技球の入球に基づいて特定判定を実行することが可能な特定判定手段と、

前記特定判定の結果に基づいて所定遊技状態よりも遊技者に有利な特別遊技状態に移行させることが可能な特別遊技状態移行手段と、

30

前記所定入球手段に遊技球が入球可能又は入球しやすい第1状態と、前記所定入球手段に遊技球が入球不可又は前記第1状態よりも入球しにくい第2状態とに切替可能な可変手段と、

前記可変手段を前記第1状態と前記第2状態に切り替える切替制御を実行する手段と、
 を備え、

前記可変手段は、第1位置と第2位置に変位可能な可動体を備え、前記可動体が前記第2位置から前記第1位置に変位することにより前記第1状態となり、前記可動体が前記第1位置から前記第2位置に変位することにより前記第2状態となるように構成されており、
 前記切替制御の態様として、第1制御態様と、前記第1制御態様よりも前記所定入球手段への遊技球の入球が生じやすい第2制御態様とを有しており、

40

前記可変手段は、前記可変手段の所定部から流入した遊技球が通過可能な所定の通路を前記可動体により形成可能となっており、

前記可変手段が前記第1状態から前記第2状態とされる場合に、前記所定の通路を通る遊技球が前記所定入球手段まで移動することなく前記可変手段より下流側の前記遊技領域に移動し得るように構成されており、

前記第2制御態様にて前記切替制御が実行される場合に、前記所定部から流入した遊技球が前記所定の通路を通った後、前記所定入球手段に入球し得るようになっており、

前記第1制御態様にて前記切替制御が実行される場合に、前記所定部から流入した遊技球が前記所定の通路を通った後、前記可変手段より下流側の前記遊技領域に移動し得るようになっており、
 前記可変手段より下流側の前記遊技領域に移動し得るようになっていることを特徴とする遊技機。

50

【請求項 2】

前記可変手段は、前記可動体を変位させる駆動手段を備え、前記駆動手段に駆動信号が出力されることで、前記可動体が前記第 2 位置から前記第 1 位置へ変位するように構成されており、

前記第 2 制御態様にて前記切替制御が実行される場合に、前記所定部から流入した遊技球が前記所定の通路を通った後、前記所定入球手段に入球し得るように前記駆動信号の出力期間が設定され、

前記第 1 制御態様にて前記切替制御が実行される場合に、前記所定部から流入した遊技球が前記所定の通路を通った後、前記可変手段より下流側の前記遊技領域に移動し得るように前記駆動信号の出力期間が設定されることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

10

【請求項 3】

前記可変手段は、前記可動体を変位させる駆動手段と、前記可動体を前記第 2 位置側へ付勢する付勢手段と、を備え、

前記駆動手段を通じて前記可動体に駆動力が付与されることにより、前記付勢手段の付勢力に抗して前記可動体が前記第 2 位置から前記第 1 位置へ変位し、前記可動体に前記駆動力が付与されない状態で前記付勢手段の付勢力により前記可動体が前記第 1 位置から前記第 2 位置へ変位するようになっており、

前記可変手段は、前記可動体に前記駆動力が付与されない状態で前記可動体における特定部分に遊技球が位置している場合に、当該遊技球により前記可動体が押されることで当該可動体の変位する方向が前記付勢手段の付勢力によって前記可動体の変位する方向と同じ方向となるように構成されていることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

20

【請求項 4】

前記可変手段は、前記可動体を変位させる駆動手段を備え、前記駆動手段に駆動信号が出力されることで、前記可動体が前記第 2 位置から前記第 1 位置へ変位するように構成されており、

前記駆動信号の出力が停止されてから次に前記駆動信号の出力が開始されるまでの期間が、前記所定部から流入した遊技球が前記所定の通路を通じて前記可変手段より下流側の前記遊技領域に排出されるまでの所要期間よりも長くなることを可能とする手段を備えていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 つに記載の遊技機。

30

【請求項 5】

前記所定部から流入した遊技球が前記所定の通路を通じて前記可変手段より下流側の前記遊技領域へ排出されるまでの所要期間は、前記所定部から流入した遊技球が前記所定の通路を通じて前記所定入球手段へ入球するまでの所要期間よりも短くなるように構成されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 つに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0006】

本発明は、
所定の発射操作に基づいて遊技領域へ遊技球を発射可能な発射手段と、
所定入球手段への遊技球の入球に基づいて特定判定を実行することが可能な特定判定手段と、

前記特定判定の結果に基づいて所定遊技状態よりも遊技者に有利な特別遊技状態に移行させることが可能な特別遊技状態移行手段と、

前記所定入球手段に遊技球が入球可能又は入球しやすい第 1 状態と、前記所定入球手段に遊技球が入球不可又は前記第 1 状態よりも入球しにくい第 2 状態とに切替可能な可変手段と、

50

前記可変手段を前記第 1 状態と前記第 2 状態に切り替える切替制御を実行する手段と、
を備え、

前記可変手段は、第 1 位置と第 2 位置に変位可能な可動体を備え、前記可動体が前記第 2
位置から前記第 1 位置に変位することにより前記第 1 状態となり、前記可動体が前記第 1
位置から前記第 2 位置に変位することにより前記第 2 状態となるように構成されており、
前記切替制御の態様として、第 1 制御態様と、前記第 1 制御態様よりも前記所定入球手段
への遊技球の入球が生じやすい第 2 制御態様とを有しており、

前記可変手段は、前記可変手段の所定部から流入した遊技球が通過可能な所定の通路を前
記可動体により形成可能となっており、

前記可変手段が前記第 1 状態から前記第 2 状態とされる場合に、前記所定の通路を通る遊
技球が前記所定入球手段まで移動することなく前記可変手段より下流側の前記遊技領域に
移動し得るように構成されており、

前記第 2 制御態様にて前記切替制御が実行される場合に、前記所定部から流入した遊技球
が前記所定の通路を通った後、前記所定入球手段に入球し得るようになっており、

前記第 1 制御態様にて前記切替制御が実行される場合に、前記所定部から流入した遊技球
が前記所定の通路を通った後、前記可変手段より下流側の前記遊技領域に移動し得るよう
になっていることを特徴とする。

10

20

30

40

50